

混合交通を観察する
DOCUMENT
series—193
Eye

●信号機のない横断歩道で歩行者保護を行う車両を観察する
**道路を横断しようとする歩行者に接近した車両221台中
一時停止しないで通過した車両は105台(47.5%)**

●WHY

車両は歩行者を優先させているか?

2005年の交通事故死者数6871人のうち、人対車両の歩行者横断中の死者数は前年より180人減って1460人となった。しかし、事故類型別にみ

た場合の構成率は依然として22・0%と最も多くなっている。

ドライバーやライダーは横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる時、歩行者を優先させているだろうか。駅前付近の信号



歩行者が一旦、立ち止まってしまうと、クルマは横断歩道の手前でなかなか停止しない

●WATCHING

歩行者保護を行う割合が高かった女性ドライバー

観察場所は横浜市北部に広がる港北ニュータウンにある地下鉄「仲町台」駅付近の横断歩道2ヶ所。片側一車線の道路で、交通量は少なめだが、路線バスのほかにも物流のトラックやタクシー、駅への送迎や買物客などのクルマが進入してくる。横断歩道には歩行者用の信号機は設置されておらず、歩行者は安全を確認した上で横断する必要がある。観察地点には母親に連れられた幼児から、小・中学生、会社員、高齢者など、幅広い年齢層の歩行者が見られた。

観察日の日人は午後5時17分で、観察時間帯はドライバーやライダーにとって周囲が見えづらい状況であった。

観察の結果、歩行者が横断しようとしている時に、接近した車両は221台。このうち、一時停止した車両は116台。一時停止しないでそのまま通過した車両は105台だった。

そのまま通過した車両では、横断歩道の中央まで来ている歩行者の前を走り抜けたクルマやバイクもいた。

女性が運転していた車両は77台で、このうち一時停止を行ったのは6割にあたる48台と、男性より女性に歩行者保護を行う傾向が見られた。



写真上/歩行者を優先させるクルマ
写真下/観察地点では、横断歩道以外の場所を渡る歩行者もいた

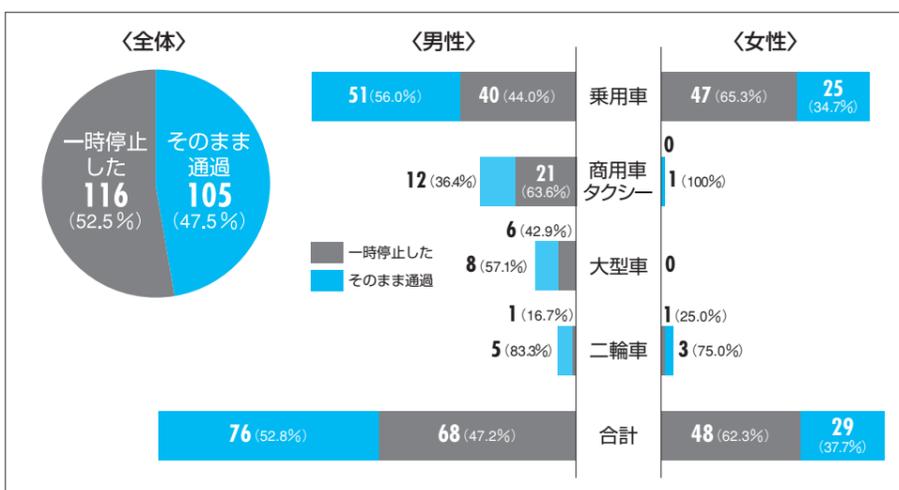
この他、歩行者

●PROPOSE

横断する歩行者がいたら横断歩道の手前で一時停止を

歩行者が道路を横断する際には横断歩道を利用する。これが歩行者にとって安全確保のための第一歩だ。ところが、横断歩道を歩行者が渡ろうとしても、歩行者の存在を無視して通過するクルマがあり、安全であるはずの横断歩道が危険な場所になりかねない。ドライバーとライダーは横断歩道を横断している、または横断しようとする歩行者等がある時は、その横断歩道の手前で一時停止し歩行者等の通行を妨げないようにしなければならぬ。また、歩行者も車両の

●信号機のない横断歩道で歩行者が横断しようとした時に接近した車両(221台)



が止まってくれればと思いません、左右の安全を確認してから横断を始めてほしい。横断歩道付近では、歩行者と車両がお互いにコミュニケーションをとり合う必要がある。

SJ (セーフティジャパン) 2005年分縮刷版発行



日頃よりSJをご愛読いただき、ありがとうございます。本紙では交通安全に関わるさまざまな話題を取り上げ、充実した紙面づくりに努めております。

本紙2005年分の縮刷版を1部2,000円にて販売いたします。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、必要部数を明記の上、下記のFAXまたはメールアドレスにお申し込みください。折り返し、縮刷版を送付いたします。代金は、縮刷版到着後、同封してある郵便局の払込取扱票にて振込みをお願いいたします。

<お申し込み先>

(株)アストクリエイティブ 安全運転普及本部係
FAX:03-3405-1310

e-mail: sj-mail@ast-creative.co.jp

※ご不明な点は、TEL:03-3405-1191までお問い合わせください。